

がん体験集「こころ綴り あした天気にな〜れ」の発行にあたり

滋賀県がん診療連携協議会会長 笹田昌孝
(滋賀県立成人病センター 総長兼病院長)

この度、がんを体験された、あるいは直面している患者さんやご家族のこころ綴りが発行されることとなりました。このこころ綴りは、がんという病が突然に現れ、その瞬間からこれ迄予想もしなかったいろいろな問題が生じ、その1つ1つから逃れることができず身心ともに疲れ果てながら、やがて1つの道を見出されたお1人お1人の歴史だと思えます。このようなこころ綴りは直面された皆さんにとって今なお重いものですが、それだからこそ今闘っておられる方々に少しでもこころの支えとして、また実際に役立つ知恵としてお届けできればとの思いが伝わってきます。

私達は医療の現場で患者さんの診療にあたっています。昔に比べて確かにがん診断・治療はいずれも飛躍的な発展を遂げてきました。しかし申すまでもなく満足するような姿はまだだと認識しています。わが国は超高齢社会となり将来の医療を考えますと多くの課題があり、私共はこれらについて今後とも出来る限りの努力を重ねていきたいと考えています。しかし臨床の現場にあってはそしてこころのケアの立場から、今がんと闘う患者さんやご家族そしてこれらの方々を支える多くの方々とともに、一体となって望ましい姿に一步一步近づけることが大切です。どうかこの度の活動の輪が広がりがんを持つ患者さんやご家族に1人でも多くこころの安らぎが届けられますことを願っております。



白鬚神社